

八戸本社 新社屋落成

プライフーズ

開発部門移し 試作機器一新

ブロイラーの生産や鶏肉加工品の製造、販売を手掛けるプライフーズ（八戸市、大江正彦社長）は20日、同市北白山台2丁目の八戸流通センター内に移転、新築した八戸本社の新社屋の落成記念式典を開いた。大江社長は「未来に、まっすぐ。食卓に、まっすぐ。」という新たな企業スローガンを紹介し、「さらなる成長を目指していく」と発展に向けた決意を示した。

（松原一茂）



プライフーズは、同市卸センター1丁目にあった八戸本社を移転。新社屋は昨年6月に着工し、今年2月に完成した。同月下旬に引っ越し、新社屋での業務をスタートさせている。

同社によると、新社屋は2階建てで、延べ床面積は約3千平方メートル。総務などの本社機能に加え、五戸町の五戸加工食品工場に併設する商品開発部門を移し、試作機器なども一新した。

広々としたスペースの事務室や商品開発の作業室、スーパーや小売業者に商品を提案するプレゼンテーションルームなど

.....
移転、新築したプライフーズ八戸本社の新社屋は八戸市北白山台2丁目

を備えた。

東北地方でケンタッキーフライドチキンとピザハットの店舗をフランチャイズ展開する子会社「KPダイニング」の本社も新社屋内に移転。プライフーズとKPダイニングの両社を合わせ、約140人が新社屋で業務に当たっている。

この日は、新社屋の内覧会が行われた後、きざん八戸で式典を開催。プライフーズが昨年で発足10周年を迎えた祝賀会も兼ね、同社の役員、取引先や建設工事の関係者ら約130人が出席した。

大江社長はいさつで、「プライフーズは全国的にも珍しいブロイラー事業の一貫体制を築いた企業。これまで以上に地元で愛される企業を目指し、地域貢献活動にも積極的に取り組んでいく」と抱負を述べた。

あいさつで「さらなる成長を目指す」と決意を語る大江正彦社長＝20日、きざん八戸